

三浦地区みなとまちづくり計画

みなと交流エリアに新しい街が誕生します！

新たなにぎわいの創出

佐世保駅みなと側で進めている「三浦地区みなとまちづくり計画」。本市では昨年「みなと交流エリア」の開発事業者を公募し、県内外の11法人から応募がありました。外部専門家の評価を踏まえながら、それぞれの事業の魅力や継続性などを審査した結果、ことし3月30日に事業予定者を「チームエレナグループ」(有限会社中村商事、株式会社エレナ)に決定しました。同グループから提案された事業内容は、みなと交流エリアの7区画に飲食、物販などさまざまな店舗が入居する複合商業施設を建設するというものです。今後は、チームエレナグループと事業用定期借地契約(契約終了後は更地にして返還する契約)などの手続きを進める予定で、提案された計画では、来年1月に着工、同年11月にオープンする予定となっています。

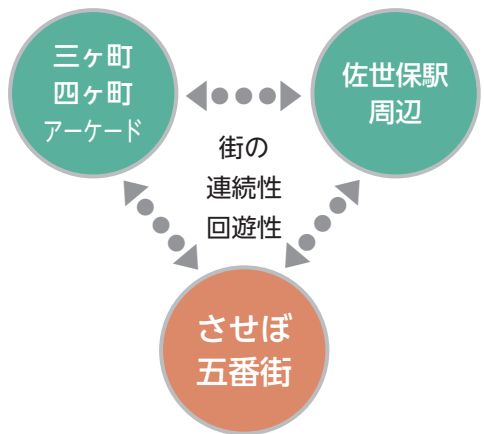


現在のみなと交流エリア(事業予定地)

街をつなぐ「させば五番街」

事業計画では、「街をつなぐ」をコンセプトとして掲げ、人の集まる場所をつくること、継続的な施設運営を行い、佐世保の街を盛り上げる拠点となることを目指しています。

計画地の一帯は三ヶ町、四ヶ町に続く「させば五番街」と名付けられる予定です。計画施設とアーケード街、佐世保駅周辺をつなぎ、街の連続性や回遊性を生み出すことを狙っています。施設内には「ポートアベニュー」と呼ばれる通路や広場が計画され、水辺の雰囲気を楽しめる歩行者空間ができることにより、みなとを経由する新たな人の流れとにぎわいが生まれることが期待されます。



みなと側から見た計画施設。主要動線のポートアベニューは、地上から建物2階部分を通る構造となっています。建物は低層を基調としており、周囲の景観に配慮したものになる予定です。



2階通路のイメージ。路面のデザインや植栽などに配慮し、歩くことが楽しめるような空間づくりを行います。



ポートアベニューの入り口付近。三ヶ町・四ヶ町アーケード方面とみなとを結ぶ玄関口となります。

☎みなと整備課 ☎25-9353

施設計画概要

対象街区	公募対象の全街区(左図参照) 1ゾーン1~3街区、2ゾーン5街区、 3ゾーン6・7街区、5ゾーン10街区
土地使用	事業用定期借地(30年)
事業費	約34億円(うち建設費約29億円)
構造・規模	1ゾーン平屋建て、2・3ゾーン2階建て 5ゾーン5階建て(駐車場)
最高高さ	約16メートル(一部約25メートル)
敷地面積	23,368㎡
延床面積	約28,150㎡(店舗床面積:約16,400㎡)
駐車場	約520台

※提案時の計画であり、細部については変更となる場合があります。